はじめに

千葉市教育委員会
教育長　吉田治郎

千葉市立加曽利貝塚博物館は、昭和４１年１１月に開館し、今年で２０周年を迎えました。

昭和３９年から行われた加曽利貝塚の発掘調査は、４８年度まで継続して実施され、貝塚の外側にも当時の集落が広がっていることが判明するなど、重要な発見があいつぎました。

これらの発掘調査の成果によって加曽利貝塚の重要性が認識され、北貝塚は昭和４５年、南貝塚は昭和５２年に国の史跡に指定されました。現在、加曽利貝塚は、南・北貝塚を中心にして約１３万㎡が買収・公園化され、市民の憩の場として利用されております。

博物館の研究活動については、昭和４３年より「貝塚博物館紀要」誌上において、研究論文や資料紹介という形でお知らせしてまいりました。

今回の紀要は、縄文時代の生産活動をとりあげ、今まで博物館の調査研究活動についてお世話になった諸先生より玉稿をいただき、開館２０周年にふさわしい内容となりました。

本書が考古学研究のために、また文化財保護のために広く活用されることを望みます。

昭和６２年３月